

環境経営レポート



大和市リサイクル事業協同組合

2025 年 6 月 1 日

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

目 次

① 組合の概要	P. 3～6
② 対象範囲	P. 7
③ 環境経営方針	P. 8
④ 環境経営目標 ⑥環境経営目標の実績	
⑤ 環境経営計画(内容)	P. 9～14
⑦ 環境活動の取組結果の評価、次年度の取組内容	
⑧ 訴訟等の有無及び環境関連法規への違反	P. 17
⑨ 代表者による全体の取り組み状況の評価及び見直しの結果	P. 18

①組合の概要

名 称	大和市リサイクル事業協同組合	
住 所	神奈川県大和市柳橋 5-13-9	
代 表 者	代表理事 三森 正道	
環境管理責任者 及び担当者	小野寺 明子 046-269-9905(柳橋エコセンター)	
設立年月日	平成 5 年 4 月 1 日	
出 資 金	182,600,000 円(令和 6 年度末)	
売 上 高	752,116.650 円(令和 6 年度末)	
延べ床面積	844.11 m ²	
事業所及び 理事・従業員内訳 (令和 7 年 5 月現在)	理事 5 名(代表理事 1 名・副理事長 1 名・専務理事 1 名・理事 2 名)	
	柳 橋 エ コ セ ン タ ー	社員 7 名 パート従業員 2 名
	大 和 市 資 源 選 別 所	社員 14 名 パート従業員 6 名
	直接搬入ごみ受入施設	社員 2 名 パート従業員 2 名
	合計 38 名(理事 5 名 社員 23 名 パート従業員 10 名)	
設 立 主 旨	家庭から排出される廃棄物は、生活様式の変化向上や増加等によって、量の増大と質の変化をもたらしました。この為近年の急激なごみの増大は、自治体の廃棄物処理事業に多大な影響を与えています。 こうした中、大和市においても「分けて分別・ごみ減量」の標語のもと、各家庭からのごみの減量化再利用を積極的に推進しています。また、我々資源回収業者も、市、住民(自治会、町内会)と一体となった資源分別回収事業を実施、現在では地域住民に定着しております。 しかしながら、今後益々増大するであろう資源回収に係わる事業に対し、合理的な回収と効率的な管理システムが不可欠となってまいります。この為、我々全体の力を結集させる為、中小企業等協同組合法に基づく協同組合を設立し、協同回収事業及び共同購買事業を行う事を計画いたしました。	
業 種	再生資源卸売業	

<一般廃棄物処理業許可証>

許可取得年月日	令和 6 年 3 月 19 日		
許可内容	期限	業の種類	許可番号
	令和 8 年 3 月 31 日	一般廃棄物収集・運搬	第 111 号
営業許可期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日		
登録車両	車両形式	台数	最大積載量(kg)
	2トントラック	32 台	2,000kg
	3トントラック	4 台	3,000kg
収集運搬処分の区分	収集運搬		
処理実績	令和 6 年度は受託した産業廃棄物の実績はない		

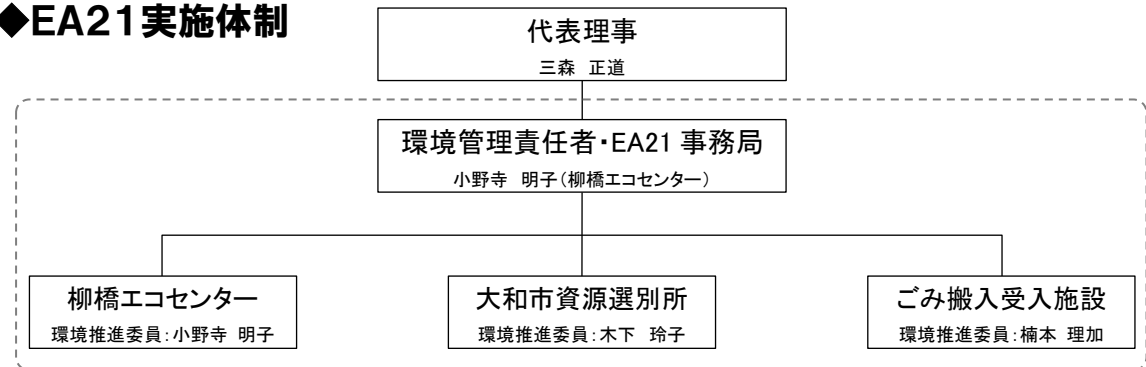
<事業用自動車>

登録車両	車両形式	台数
	パッカー車	8 台
	軽トラック	2 台

<事業の規模>

活動規模	単位	2024年度
処理量	t	12,205,290
売上高	百万円	752
従業員	人	31
床面積	m ²	844.11

◆EA21実施体制

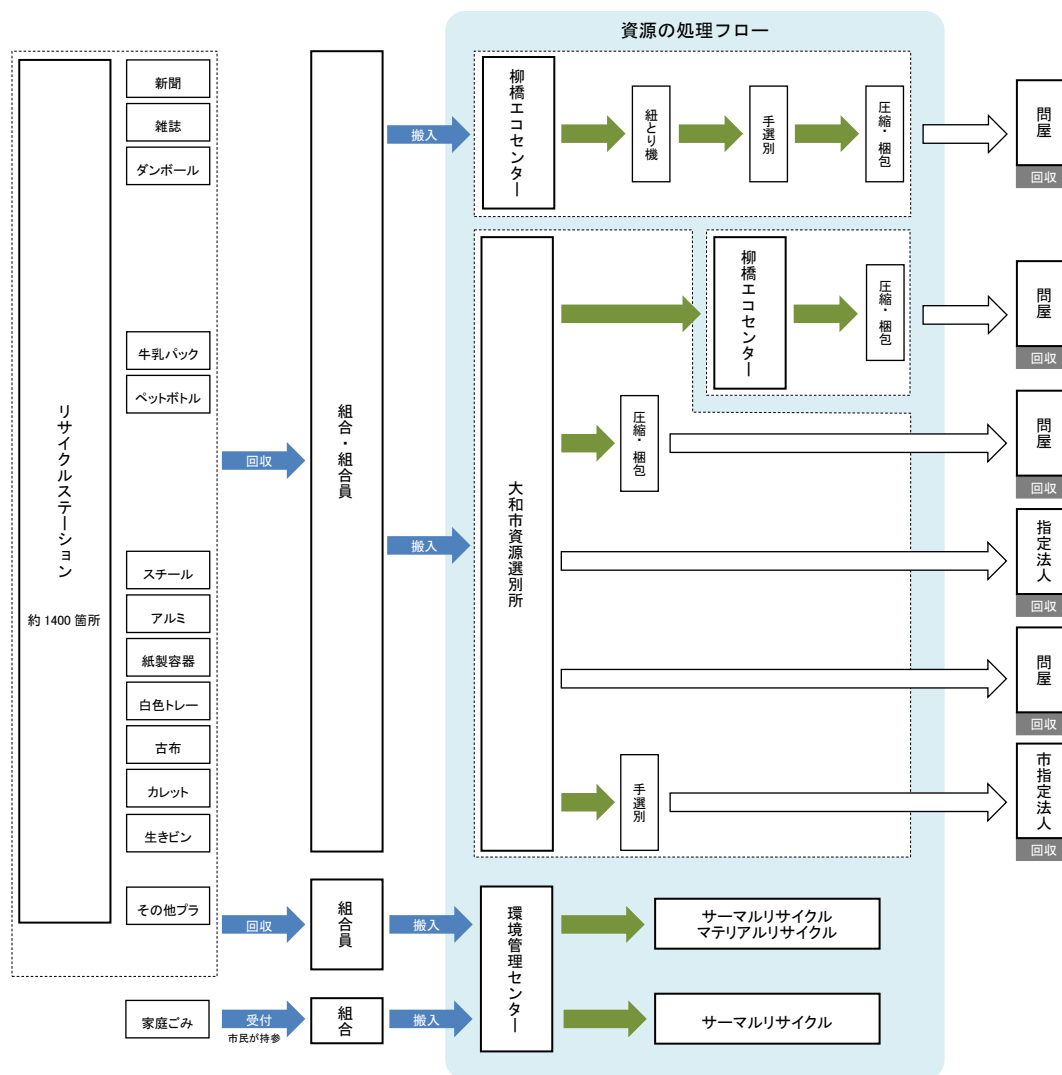


職 名	役 割
代表理事	① 環境管理責任者の任命を行い、必要な権限を与える ② 環境経営方針を制定し、定期的に見直しを行い指示する ③ 環境経営システムを構築し、運用するために必要な経営資源の提供 ④ 経営における課題とチャンスの明確化 ⑤ 代表者による見直し
環境管理責任者	① 環境経営システムを構築し、運営する ② 環境経営システムの運用状況を代表者に報告する ③ 環境課題に対する審議内容を代表者に報告する ④ 環境側面及びその量的把握、環境負荷データ管理の統括 ⑤ 環境安全についての従業員の啓発、教育研修実施
環境推進委員	① 環境経営計画の推進、関連法規の調査、適応法規の評価登録 ② 遵守状況の把握及び委員会の運用維持に関する審議決定 ③ 各部における環境活動の推進 ④ 各職場における環境経営計画の推進
EA21 事務局	① 環境経営目標、環境経営計画における決定事項を全従業員に徹底して周知する ② 文章記録の保管

◆事業施設及び事業内容及び品目

柳橋エコセンター
大和市一般家庭及び事業所より発生する資源の集積加工業務
新聞 雑誌 布類 シュレッダー ダンボール
事業系古紙
新聞 雑誌 コピー用紙 パンフレット カタログ 禁忌品以外の普通紙 禁忌品以外のシュレッダー ダンボール
大和市資源選別所
大和市一般家庭より発生する資源の収集加工業務
ペットボトル 新聞 雑誌 布類 ダンボール 植物性廃食用油 たい肥 アルミ缶 スチール ビン 白色トレー 紙パック
ごみ搬入受入施設
大和市在住者の家庭より発生したゴミの受入業務 (処理手数料10kgごとに200円)

◆処理施設＜処理品目・処理方式・処理工程図＞



〔エコセンター〕

- ・プレス機（処理品目：新聞・雑誌・牛乳パック・段ボール）

株式会社昭和 省エネ油圧ジャンボプレス機 SW770 型 HE×1 台

処理量 段ボール約 14t/h 新聞・雑誌 18t/h

〔資源選別所〕

- ・プレス機（処理品目：スチール缶・アルミ缶）

株式会社北町機械 CPI25050-11×1 台

処理量 20/h ブロック

- ・コンベア（処理品目：カレット/色付きビン・透明ビン）

株式会社テクノリンクス 500W-3M

②対象範囲

認証・登録の範囲：全事業をエコアクション21活動の対象とする。

対象事業所：柳橋エコセンター

〒242-0022神奈川県大和市柳橋5-13-9

ただし、以下の事業所でもエコアクション21の活動を行う。

大和市資源選別所

〒242-0029神奈川県大和市上草柳563-11

ごみ搬入受入施設

〒242-0026神奈川県大和市草柳3-12-1

事業内容

共同施設の設置並びに管理運営、資源にかかわる業務の共同受注、資源の共同加工及び販売、資材及び消耗品の共同購入、組合員に対する教育及び情報の提供、組合員の福利厚生に関する事業

③ 環境経営方針

基本理念

当組合は、「地球の資源と環境を守る」をモットーに、リサイクルが市民生活の一部となるよう、大和市の資源分別回収業務を主な業務として、地域の様々なリサイクル活動に協力し、廃棄物を抑制するとともに、資源の再利用を促進する循環型社会の構築を目指します。

行動指針

当組合は、基本理念の実現を目指し、環境に関連する法規制及び周辺地域の環境条例、その他事業活動にあたって遵守しなければならない規制を守り、環境経営目標の設定と評価、定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的改善を図り、下記のことを行動指針とします。

- (1) 資源分別回収における啓発活動によって、資源の回収量を増やし、ごみ減量化及び資源化推進に取り組めます。
- (2) 地域と地球環境保全のため、節電、省エネ運転、廃棄物の減量、節水に努めます。
- (3) 組合で利用・消費する物品については、環境に配慮した製品を優先的に購入します。
- (4) 当組合の組合員及び全職員に環境経営方針を周知し、環境保全の意識を高めるよう努力します。
- (5) 環境経営方針は一般の方にも公開します。

改定日 2021 年 10 月 12 日
大和市リサイクル事業協同組合
理事長 三森 正道

④環境経営目標 ⑥環境経営目標の実績

No.	区分	基準年度	年度目標	年度実績	評価	中期目標	
		2020年度	2024年度			2025年度	2026年度
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	45,492	43,672 基準年度実績 比較4%削減	45,223	×	43,217 基準年度実績 比較5%削減	42,762 基準年度実績 比較6%削減
			上半期 21,836	上半期 22,611	×		
			下半期 21,836	下半期 22,611	×		
2	電気使用量の削減 (kWh)	72,981	70,062 基準年度実績 比較4%削減	77,787	×	69,332 基準年度実績 比較5%削減	68,602 基準年度実績 比較6%削減
			上半期 35,031	上半期 39,809	×		
			下半期 35,031	下半期 37,978	×		
3	燃料(ガソリン)の削減 (ℓ)	227	218 基準年度実績 比較4%削減	146	○	215 基準年度実績 比較5%削減	213 基準年度実績 比較6%削減
			上半期 108.8	上半期 65.0	○		
			下半期 108.8	下半期 80.7	○		
4	燃料(軽油)の削減 (ℓ) *構内使用量重機の燃料削減	4,897	4,701 基準年度実績 比較4%削減	5,068	×	4,652 基準年度実績 比較5%削減	4,603 基準年度実績 比較6%削減
			上半期 2,350.6	上半期 2,536.0	×		
			下半期 2,350.6	下半期 2,531.6	×		
5	廃棄物排出量の削減 (kg)	66.8	64.1 基準年度実績 比較4%削減	95.7	×	63.5 基準年度実績 比較5%削減	62.8 基準年度実績 比較6%削減
			上半期 32.1	上半期 45.3	×		
			下半期 32.1	下半期 50.4	×		
6	水道量の削減 (m ³)	172	165 基準年度実績 比較4%削減	173	×	163 基準年度実績 比較5%削減	162 基準年度実績 比較6%削減
			上半期 83	上半期 92	×		
			下半期 83	下半期 81	○		
7	紙使用量の削減 (枚)	29,589	28,405 基準年度実績 比較4%削減	28,860	×	28,110 基準年度実績 比較5%削減	27,814 基準年度実績 比較6%削減
			上半期 14,203	上半期 17,460	×		
			下半期 14,203	下半期 11,400	○		
8	グリーンマーク利用	重視購買	重視購買	重視購買	○	重視購買継続	重視購買継続

- ① 購入電力の二酸化炭素の排出係数は、2023年度 東京電力エナジーパートナー(株)の排出係数0.408(kg-CO₂/kWh)を使用し、算出した。
化学物質の使用はありません。
- ② 年度目標の上半期・下半期の目標値は、年度目標値の1/2とした。
- ③ 廃棄物排出量については、自社での焼却処理は行っていないが、廃棄物量削減の取組みとして目標を立て、達成する努力を行う。
- ④ 中期目標について、2020年度までは2014年度を基準年度としていたが、熱中症対策、従業員の高齢化、人員不足等労働環境の大きな変化、働き方改革実行に伴い、2021年度からは、基準年度を2020年度実績に変更し目標管理することにした。

<未達成理由・是正措置>

区分		未達成理由	是正措置
二酸化炭素 排出量	電気使用量	圧縮梱包機等機械設備の老朽化	省エネルギータイプの圧縮梱包機・紐取り機の入替え (2024.2月入れ替え工事終了)
		従業員の熱中症予防対策による冷房稼働時間増加、設定温度上げ下げの頻度増	スポットクーラーと空調服の最大限の活用
	燃料(軽油)	フォークリフトの燃料使用量増、フォークリフト乗務員の技術不足	工場長をリーダーにフォークリフト燃費向上につながるエコドライブを実施し、 月1回のミーティング時に確認する。
			フォークリフト安全運転講習会を開催し、職員の技術向上に努める。
廃棄物排出量		エコセンター人員増による増加	職員一人ひとりが廃棄物削減を心掛け、資源との分別を徹底する。
水道量		エコセンター人員増による増加	職員一人ひとりが節水を心掛け、環境活動の取り組みを励行する。
紙使用量		本部業務での紙資料過多、エコセンター人員増による増加	会議でのプロジェクター活用、リモートやメールでの業務推進

⑤環境経営計画（取組内容）

⑦環境活動の取り組み結果の評価、次年度の取り組み内容

No.	区分	取組内容	取組の責任者	実施	次年度の取組
①	電気使用量の削減	・エアコンの温度設定（夏：28 度、冬：20 度） ・スポットクーラーや空調服の活用 ・照明を随時 LED に入れ替え ・OA 製品や電化製品はセーブモードを活用し、こまめな電源 ON/OFF	小野寺	○	継続
②	燃料（ガソリン）の削減	・公用車運転時の適切なコース設定 ・アイドリングストップなどエコドライブの実施 ・リモートやメールを活用し、不必要な外出を減らす	小野寺	○	継続
③	燃料（軽油）の削減	・急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルを減らす、エコドライブの実施 ・タイヤの空気圧やエレメントの適切な交換など車両整備の徹底 ・毎月のミーティングでエコドライブや運転技術向上のための意見交換を実施	渡辺	○	継続
④	廃棄物排出量の削減	・ごみを減らし、資源化への分別徹底 ・割りばしなど使い捨て製品の削減努力 ・毎月のミーティングで環境管理責任者より廃棄物削減のアドバイスを提示	小野寺	○	継続
⑤	水使用量の削減	・構内清掃時の水使用は節水を心掛ける ・節水に関しての各人の取り組みをミーティング等で確認する	小野寺	○	継続
⑥	紙使用量の削減	・定例の会議やミーティングでは紙資料を減らし、プロジェクターを活用 ・両面コピー、2in1、4in1 を活用し、プリントアウトを極力減らす ・サーバー上での確認など、プリントアウトせずに共有ファイルを閲覧する	河野	○	継続
⑦	グリーンマーク利用	・購入の際は、グリーン商品の表示があるネット通販を利用する ・文具や消耗品は詰め替え商品を利用する ・使い捨て製品は購入を控え、サステナブル製品の購入を検討する	河野	○	継続
⑧	資源回収啓発活動	・5 月の大和市民まつり、11 月のやまと産業フェアに出展し、古本市の開催等で廃棄物削減、資源化への啓蒙活動を実施する ・組合ホームページやその他外部とのツールで積極的な情報発信に努める	小野寺	○	継続

- 〔その他実施した主な取組〕
- ・空調服の積極的な活用
 - ・割りばし等使い捨て消耗品の使用中止
 - ・照明の適宜利用
 - ・朝礼等で目標管理の周知徹底
 - ・フロン類第一種特定製品簡易点検を定期的に実施

改正フロン法：業務用エアコン 簡易点検表（四半期に1回以上） （2024年度）					エコセンター 対象機器 対象機器 ★エアコン：5 台（1 台は通常エアコン）	
点検項目		2024年		2025年		A：1 階事務所 B：2 階課長室 C：2 階リサイクル工房 D：3 階会議室 E：1 階休憩室（通常エアコン） ★室外機：5 台 F：台置機 G：休憩室窓側① H：休憩室窓側② I：休憩室窓側③ J：休憩室窓側④（通常エアコン用室外機） 室外機配置図 1 階 2 階 3 階 4 階 5 階 6 階 7 階 8 階 9 階 10 階 11 階 12 階 13 階 14 階 15 階 16 階 17 階 18 階 19 階 20 階 21 階 22 階 23 階 24 階 25 階 26 階 27 階 28 階 29 階 30 階 31 階 32 階 33 階 34 階 35 階 36 階 37 階 38 階 39 階 40 階 41 階 42 階 43 階 44 階 45 階 46 階 47 階 48 階 49 階 50 階 51 階 52 階 53 階 54 階 55 階 56 階 57 階 58 階 59 階 60 階 61 階 62 階 63 階 64 階 65 階 66 階 67 階 68 階 69 階 70 階 71 階 72 階 73 階 74 階 75 階 76 階 77 階 78 階 79 階 80 階 81 階 82 階 83 階 84 階 85 階 86 階 87 階 88 階 89 階 90 階 91 階 92 階 93 階 94 階 95 階 96 階 97 階 98 階 99 階 100 階
①異常・振動	有	無	有	無	有	無
②油等のにじみ、洩れ	有	無	有	無	有	無
③大きな音・破損	有	無	有	無	有	無
④その他	有	無	有	無	有	無
⑤異常・振動	有	無	有	無	有	無
⑥冷暖房の調整ができない	有	無	有	無	有	無
⑦その他	有	無	有	無	有	無
異常があった機器と状況						
対策内容と終了日				スポットクーラーについては、今年度、緊急点検を実施しているが、レンタルスポットクーラーに交換した際に異常は確認されなかった		
点検者	小野寺明子	小野寺明子	小野寺明子	小野寺明子		
点検日	2024.4.1	2024.7.1	2024.10.1	2024.1.6		

[大和市資源選別所]

④環境経営目標 ⑥環境経営目標の実績

No.	区分	基準年度	年度目標	年度実績	評価	中期目標				
		2020年度	2024年度			2025年度	2026年度			
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	173,242	166,312 基準年度実績 比較4%削減		128,341		○	164,580 基準年度実績 比較5%削減	162,847 基準年度実績 比較6%削減	
			上半期	83,156	上半期	64,170				○
			下半期	83,156	下半期	64,170				○
2	電気使用量の削減 (kWh) 対象:組合所有駐車場 (他電力は市負担となり全体把握できず)	687 ※基準年度 2024年度	687 基準年度実績 を継続		687		-	687 基準年度実績 を継続	687 基準年度実績 を継続	
			上半期	344	上半期	341				-
			下半期	344	下半期	346				-
3	燃料(ガソリン)の削減 (ℓ)	3,420.5	3,283.7 基準年度実績 比較4%削減		2,362.1		○	3,249 基準年度実績 比較5%削減	3,215 基準年度実績 比較6%削減	
			上半期	1,641.8	上半期	1,294.7				○
			下半期	1,641.8	下半期	1,067.4				○
4	燃料(軽油)の削減 (ℓ) *構内使用量重機の燃料削減	56,694.4	54,426.6 基準年度実績 比較4%削減		47,511.6		○	53,860 基準年度実績 比較5%削減	53,293 基準年度実績 比較6%削減	
			上半期	27,213	上半期	24,678.5				○
			下半期	27,213	下半期	22,833.2				○
5	廃棄物排出量の削減 (kg)	182.5	175.2 基準年度実績 比較4%削減		61.7		○	173 基準年度実績 比較5%削減	172 基準年度実績 比較6%削減	
			上半期	87.6	上半期	29.7				○
			下半期	87.6	下半期	32.0				○
6	紙使用量の削減 (枚)	53,673	51,526 基準年度実績 比較4%削減		49,785		○	50,989 基準年度実績 比較5%削減	53,673 基準年度実績 比較6%削減	
			上半期	25,763	上半期	26,847				×
			下半期	25,763	下半期	22,938				○
7	グリーンマーク利用	重視購買	重視購買	重視購買	○	重視購買継続	重視購買継続			

- ① 購入電力の二酸化炭素の排出係数は、2023年度 東京電力エナジーパートナー㈱の排出係数0.408(kg-CO2/kWh)を使用し、算出した。
化学物質の使用はありません。
- ② 年度目標の上半期・下半期の目標値は、年度目標値の1/2とした。
- ③ 電気使用量の削減については、駐車場の電力量しか把握できず目標管理が不可能なため、2024年度を基準年度とし、同等量を継続することに中期目標を変更した。
- ④ 廃棄物排出量の削減については、自社での焼却処理は行っていないが、廃棄物量削減の取組みとして目標を立て、達成する努力を行う。
- ⑤ 中期目標について、2020年度までは2014年度を基準年度としていたが、熱中症対策、従業員の高齢化、人員不足等労働環境の大きな変化、働き方改革実行に伴い、2021年度からは、基準年度を2020年度実績に変更し目標管理することにした。

⑤環境経営計画（取組内容）

⑦環境活動の取り組み結果の評価、次年度の取り組み内容

No.	区分	取組内容	取組の 責任者	実施	次年度の取組
①	電気使用量の削減	・エアコンの温度設定（夏：28 度、冬：20 度） ・スポットクーラーや空調服の活用 ・照明を随時 LED に入れ替え ・OA 製品や電化製品はセーブモードを活用し、こまめな電源 ON/OFF	新川	○	継続
②	燃料（ガソリン）の削減	・公用車運転時の適切なコース設定 ・アイドリングストップなどエコドライブの実施 ・リモートやメールを活用し、不必要な外出を減らす	新川	○	継続
③	燃料（軽油）の削減	・急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルを減らす、エコドライブの実施 ・タイヤの空気圧やエレメントの適切な交換など車両整備の徹底 ・毎月のミーティングでエコドライブや運転技術向上のための意見交換を実施	樋口	○	継続
④	廃棄物排出量の削減	・ごみを減らし、資源化への分別徹底 ・割りばしなど使い捨て製品の削減努力 ・毎月のミーティングで環境管理責任者より廃棄物削減のアドバイスを提示	新川	○	継続
⑤	水使用量の削減	・構内清掃時の水使用は節水を心掛ける ・節水に関しての各人の取り組みをミーティング等で確認する	木下	○	継続
⑥	紙使用量の削減	・定例の会議やミーティングでは紙資料を減らし、プロジェクターを活用 ・両面コピー、2in1、4in1 を活用し、プリントアウトを極力減らす ・サーバー上での確認など、プリントアウトせずに共有ファイルを閲覧する	木下	○	継続
⑦	グリーンマーク利用	・購入の際は、グリーン商品の表示があるネット通販を利用する ・文具や消耗品は詰め替え商品を利用する ・使い捨て製品は購入を控え、サステナブル製品の購入を検討する	木下	○	継続
⑧	資源回収啓発活動	・5 月の大和市民まつり、11 月のやまと産業フェアに出展し、古本市の開催等で廃棄物削減、資源化への啓蒙活動を実施する ・組合ホームページやその他外部とのツールで積極的な情報発信に努める	新川	○	継続

※資源選別所の水使用量については大和市役所が管理しており、こちらでは使用量の把握ができないため目標設定せずに、節水の取組に努めている。

〔その他実施した主な取組〕

- ・プレス機器類の効率的稼働
- ・パッカー車両の駆動系の早朝メンテナンスの実施
- ・パッカー車の燃費向上に寄与するミックスタイヤの使用
- ・フォークリフトの日常メンテナンスの講習実施
- ・フロン類第一種特定製品簡易点検を定期的に実施

改正フロン法：業務用エアコン 簡易点検表（四半期に1回以上）					資源選別所 対象機器		
（2024年度）					・業務用エアコン3台（A～E・F） ・エアコン3台（B・C・D） ・室外機6台（A'～F'）		
点検項目	2024年		2025年				
	4月	7月	10月	1月			
①異音・振動							
②油等のにじみ、流れ							
③大きな錆・破損							
④その他							
⑤異音・振動							
⑥冷暖房の調整ができない							
⑦その他							
異常があった機器と状況							
対策内容と終了日							
点検者	木下玲子	木下玲子	木下玲子	木下玲子			
点検日	2024/4/19	2024/7/18	2023/10/21	2025/1/22			

・スポットクーラー9台
基本配置：持込受付1、白色トレー作業1、ラベル作業1、ペットボトル作業1、紙製容器作業2、アルミ罐1、カレット作業2

[ごみ搬入受入施設]

④環境経営目標 ⑥環境経営目標の実績

No.	区分	基準年度	年度目標		年度実績		評価	中期目標	
		2020年度	2024年度					2025年度	2026年度
2	廃棄物排出量の削減 (kg)	61.7	59.2 基準年度実績 比較4%削減		※データなし		—	58.6 基準年度実績 比較5%削減	58.0 基準年度実績 比較6%削減
			上半期	29.6	上半期	—	—		
			下半期	29.6	下半期	—	—		
3	紙使用量の削減 (枚)	13,138	12,612 基準年度実績 比較4%削減		5,580		○	12,481 基準年度実績 比較5%削減	12,350 基準年度実績 比較6%削減
			上半期	6,306	上半期	3,960	○		
			下半期	6,306	下半期	1,620	○		
4	グリーンマーク利用	重視購買	重視購買		重視購買		○	重視購買継続	重視購買継続

※ リサイクル未来館は、2024年8月に閉館した。

① 年度目標の上半期・下半期の目標値は、年度目標値の1/2とした。

② 廃棄物排出量については、自社での焼却処理は行っていないが、廃棄物量削減の取組みとして目標を立て、達成する努力を行う。

③ 中期目標について、2020年度までは2014年度を基準年度としていたが、熱中症対策、従業員の高齢化、人員不足等労働環境の大きな変化、働き方改革実行に伴い、2021年度からは、基準年度を2020年度実績に変更し目標管理することにした。

⑤環境経営計画（取組内容）

⑦環境活動取り組み結果の評価、次年度の取り組み内容

No.	区分	取組内容	取組の責任者	実施	次年度の取組
①	廃棄物排出量の削減	・ごみを減らし、資源化への分別徹底 ・割りばしなど使い捨て製品の削減努力 ・毎月のミーティングで環境管理責任者より廃棄物削減のアドバイスを提示	細谷	○	継続
②	紙使用量の削減	・定例の会議やミーティングでは紙資料を減らし、プロジェクターを活用 ・両面コピー、2in1、4in1を活用し、プリントアウトを極力減らす ・サーバー上での確認など、プリントアウトせずに共有ファイルを閲覧する	楠本	○	継続
③	グリーンマーク利用	・購入の際は、グリーン商品の表示があるネット通販を利用する ・文具や消耗品は詰め替え商品を利用する ・使い捨て製品は購入を控え、サステナブル製品の購入を検討する	楠本	○	継続

※リサイクル未来館は、2024 年 8 月に閉館した。

※受入施設の電気使用量・水使用量については大和市役所が管理しており、こちらでは使用量の把握ができないため目標設定せず、節電・節水の取組に努めている。

- [その他実施した主な取組]
- ・来客状況に合わせた室内灯および空調使用の制限

・省エネ対策として、蛍光灯の間引き実施

・フロン類第一種特定製品簡易点検を定期的の実施

改正フロン法：業務用エアコン 簡易点検表（四半期に1回以上）
(2024年度)

2024年

2025年

点検項目	4月	7月	10月	1月
①異音・振動				
②油等のにじみ、流れ	有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無)
③大きな錆・破損				
④その他				
⑤異音・振動				
⑥冷暖房の調整ができない	有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無)
⑦その他				
異常があった機器と状況				
対策内容と終了日			スプリットクーラーについては、今年度は簡易点検は実施できなかったが、年度後は夏季使用終了後、レンタル機はレンタル返却前に点検した際に異常は確認されなかった。	
点検者	楠本	楠本	細谷	楠本
点検日	2024/4/30	2024/7/29	2024/10/28	2025/1/27

受入施設 対象機器

対象機器 ★エアコン：1台（通常エアコン）
事務スペース
★室外機：1台
入口横
★スプリットクーラー：2台
作業場
→2台のうち1台は夏季レンタル品

作業場

事務スペース

2024 年度活動トピックス

① 省エネルギーモデルの圧縮梱包機へ入れ替え工事を実施



- ◆標準機と同等の性能で、消費電力25%以上削減できる圧縮梱包機への入れ替えを完了
- ◆油圧モーターにインバーターおよび制御機能を搭載することで消費電力を大幅に削減
- ◆ベラーヘアイドリングストップ機能を搭載することにより、消費電力の大幅低減を可能に

② フォークリフト運転者講習を初めて開催

- ◆フォークリフト運転者を対象に、フォークリフトメーカーから講師を招聘し講習会を開催
- ◆実車を使用しての走行速度や操作方法を確認し、改めてフォークリフト乗務の安全で効率的、環境に配慮した運転を学びました。



③ 古本市で大和市民とのふれあいの場を継続



- ◆5月開催の大和市主催「大和市民まつり」、11月開催の大和商工会議所主催「やまと産業フェア」で古本市を出展
- ◆資源回収で回収した状態の良い古本を組合で購入し、1冊50円の価格で市民の皆さまへ販売。
- ◆古本市の売り上げで、組合オリジナルトイレットペーパーを製作し、大和市・大和市社会福祉協議会へ毎年寄贈

④ 資源選別所 定期的なクリーンアップ(清掃)活動を継続

- ◆日々の整理整頓、清掃だけでなく、週に1回、月に1回のクリーンアップ活動を継続
- ◆毎週1回、休憩室や給湯室の掃き掃除、モップかけを行い、転倒事故など発生しないよう清潔で安全な床を保っている
- ◆毎月1回、作業員全員で構内外を一斉清掃。選別所出入口、手前の歩道についてもごみ拾いや掃き掃除を実施
- ◆毎週日曜日には、回収で使用するコンテナ置場の掃き掃除や整理整頓を実施し、清潔なコンテナを維持できるよう努めている

⑤ 家具類再生展示施設リサイクル未来館閉館



- ◆リサイクル未来館は、「市民に対する3Rの普及・啓発活動」「廃棄物の発生抑制」「最終処分の軽減」を主な目的とし、2006年に設立、大和市より管理運営業務を受託
- ◆一般家庭から廃棄される家具類の中から再利用可能なものについて、個別に依頼を受付け回収し、簡易補修、清掃を行い、安価で頒布
- ◆2024年8月に閉館

	収集点数	頒布件数	来場者数
R5年度	476	271	3,296
R6年度 (期間: ~8月まで)	101	208	1,561

※頒布はセット品を1件としています

⑧訴訟等の有無及び環境関連法規への違反

環境関連法規への違反や訴訟はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去5年間ありません。法規の遵守状況をチェックし、問題がありません。

文書④⑬環境関連法規等のとりまとめと遵守状況

						最新である事の確認		2025年4月1日 氏名 小野寺 明子	
適用となる主な環境関連法規									
番号	法規等の名称	適用対象場所	適用対象物	届出	管理	確認結果		違法性確認実施年月日	
						組合	組合員	確認	
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	柳橋エコセンター	一般廃棄物	なし(大和市扱い)	事務局が大和市との窓口	遵守	遵守	2025年4月1日	
2	神奈川県生活環境の保全等に関する条例	柳橋エコセンター	プレス機(油圧式)	設置許可申請 許可証	事務局 事務局	遵守	遵守	2025年4月1日	
※指定事業所の設置第3条第1項									
3	騒音規制法	柳橋エコセンター	圧縮梱包機	無(規制対象外)	現場	遵守	遵守		
※事業場から出る騒音―神奈川県条例第32条									
4	振動規制法	柳橋エコセンター	圧縮梱包機	無(規制対象外)	現場	遵守	遵守		
※事業場から出る振動―神奈川県条例第32条									
5	自動車NOX・PM法	柳橋エコセンター	公用車	車検証	事務局	遵守	遵守	2025年4月1日	
		資源選別所	公用車、パッカー車、軽トラック	車検証・定期点検記録簿	事務局及び運行管理者	遵守	遵守		
		柳橋エコセンター	フォークリフト	定期点検記録簿	整備管理者	遵守	遵守		
		資源選別所	フォークリフト	定期点検記録簿	整備管理者	遵守	遵守		
※第1章 第4条 規制該当車両の使用禁止 第12条									
6	オフロード法	柳橋エコセンター	フォークリフト	基準適合表示車	事務局、整備管理者	遵守	遵守	2025年4月1日	
		資源選別所	フォークリフト	基準適合表示車	事務局、整備管理者	遵守	遵守		
※基準適合車両の使用									
7	フロン排出抑制法	柳橋エコセンター	業務用エアコン、スポットクーラー	点検記録を3年間保管	環境推進委員	遵守	遵守	2025年4月1日	
		資源選別所	業務用エアコン、スポットクーラー	点検記録を3年間保管	環境推進委員	遵守	遵守		
		受入	業務用エアコン、スポットクーラー	点検記録を3年間保管	環境推進委員	遵守	遵守		
		※3ヶ月に1回簡易点検を実施							
8	自動車リサイクル法	柳橋エコセンター	公用車	車検証	事務局	遵守	遵守	2025年4月1日	
		資源選別所	公用車、パッカー車、軽トラック	車検証	事務局	遵守	遵守		
※使用済みとなった自動車を引取業者に引渡すこと(H8) ※リサイクル費用を資金管理法人に対し預託すること(H73) ※管理表交付は不要(H122・14)									
9	グリーン購入法	柳橋エコセンター 資源選別所	グリーン購入法対象事務用品	無	事務局	遵守	遵守	2025年4月1日	
※19分類 266品目に該当									
10	消防法	柳橋エコセンター	工場棟	消防用設備等検査済証・事業場 消防用設備等検査済証・工場 消防用設備等着工届出書 防火対象物使用開始届出書	事務局	遵守	遵守	2025年4月1日	
			自動火災報知設備						
			消火器具						
			事務棟						
			避難器具(援降機)						
			誘導灯						
			消火器具						
※消防法第17条および消防法施行規則第31条の3									
11	大和市火災予防条例	柳橋エコセンター	工場棟	防火対象物使用開始届出書	事務局	遵守	遵守	2025年4月1日	
			自動火災報知設備						
			消火器具						
			事務棟						
			避難器具(援降機)						
			誘導灯						
			消火器具						
※大和市火災予防条例43条および大和市火災予防規則第20条									
12	容器包装リサイクル法	資源選別所	施設全体	大和市との契約書	理事長	遵守	遵守	2025年4月1日	
※容器包装廃棄物の分別収集に関する省令 第2条									
13	道路交通法	組合全体	組合登録トラック、パッカー車、 軽トラック、公用車	各自免許証を組合、運行管理責任者に提出、事業用自動車	運行管理者	遵守	遵守	2025年4月1日	

※評価は「現状の取り組みのままで今後も違法性を保つ事ができるかどうか」を評価する

⑨代表者による全体の取り組み状況の評価及び見直しの結果

	⑧代表者による全体の評価と見直し 結果報告書	作成月日	作成者
		2025年5月20日	小野寺
見直し対象期間	2024年4月1日～2025年3月31日		
見直し実施月日	2025/5/30(定期・臨時)		
出席者	理事長 三森正道 環境管理責任者 小野寺		
提出資料名	①環境経営目標の達成状況 ②環境経営計画の実施及び運用結果 ③環境関連法規等の遵守状況 ④外部からの環境に関する苦情や要望 (地域住民・顧客・自治体・消費者や社会の要請等も含む) ⑤その他(法規制の動向の情報など)		
見直し結果	①環境経営方針の変更の必要性 (有り ・無し) 改善担当者:小野寺 期限: ②環境経営目標の変更の必要性 (有り ・無し) 改善担当者:小野寺 期限:2026年4月(受入施設) ③環境経営計画の変更の必要性 (有り ・無し) 改善担当者:小野寺 期限: ④環境経営システム等の変更の必要性 (有り ・無し) 改善担当者:小野寺 期限:		
総括	①前回の指示への取組結果 ・緊急事態訓練の実施後、大きな声を出して周囲に知らせることが重要と評価しているが、手順書の見直しに触れていない。手順書の見直しが必要か否かを検討してください。 →「大きな声を出して周囲に知らせる」は手順書にはっきりとした明記は無かったため、④として「周囲への確実な伝達」を追記した。 ・環境経営計画に責任者を設け、多くの人がかかわりを持った取り組みになるようにして下さい。 →環境経営計画に取り組みの適任者を責任者と定めて取組ました。 ②今回の評価結果及び指示内容等 ・2024年8月でリサイクル未来館が年度途中で閉館したため、受入施設と併せて管理していた廃棄物排出量のデータが無効となり、評価の対象外となった。 受入施設のみの廃棄物排出量と紙使用量の把握について、2025年度1年をかけて実施し、2026年度は、基準年度を2025年度として中期目標を策定するよう指示をした。 ・2025年2月に柳橋エコセンターの圧縮梱包機を省エネルギータイプの新機種へ入れ替えを実施した。 二酸化炭素排出量の削減、電気使用量の削減の取り組み活動に限界が見え始め、目標達成が難しい状況の中、電力使用量が一番大きい圧縮梱包機の省エネ化は大きな期待を寄せており、半期より四半期で電力量を注視するよう指示をした。 ・働き方改革の一環として、臨時職員から正職員への雇用が増え、フォークリフト運転者も増加し、各人での運転にバラつきがあり、燃料の使用量削減の目標達成が難しくなっている。 2024年度からフォークリフトメーカーによる安全運転講習の実施を開始し、これを継続し、運転者の意識啓発、運転技術の向上を目指し、燃料の削減に積極的に取り組むよう指示をした。		